

新たな地域商店街としての魅力創造と 地域顧客の物品購入、来街に向けての後方支援の拡充

事業実施主体：協同組合 松江天神町商店街、
堅町商店会、松江駅本通り商店会
事業実施箇所：島根県松江市
商店街店舗数：計121店舗

- 事業実施場所である3商店街は、JR松江駅の周辺にあり、松江市の中心市街地に立地している。
- オンラインによる商店街の魅力の継続的な発信や非接触を心がけたデリバリーや送客事業、従来の定期イベントに対する地域製品の販売機会の充実などを行う。
- 地域や商店街の魅力を地域住民に伝えることで、幅広い年代から愛着を持ってもらうと共に新しい生活様式に対応した商店街へと変化していくことを目的とする。

背景・課題

- ✓ 地域外からの出店者が増えつつあり、商店街の枠を超えて連携した事業を実施しているものの、それぞれの商店街において、店主の高齢化や廃業がみられ、非常に疲弊している現状もある。
- ✓ 市内でも特に多く高齢者が在住する地域であり、コロナ禍においても、地域住民が安心して気軽に買い物ができる環境をつくる必要がある。

取組内容

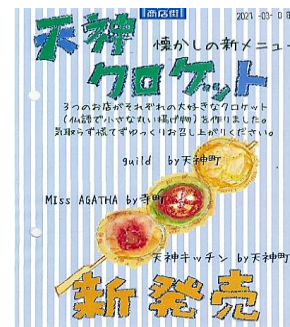
- ✓ 以下の8つの事業を実施する。
 - ①「まちゼミ」リモート配信や各店舗の魅力発信動画の制作
 - ②ベロタクシーを中心とした、デリバリーシステムの構築実験
 - ③トウトウクを活用したショッピングバスの運行実験
 - ④地域産品をより多く集めたマルシェの定期的な開催
 - ⑤商店を主題にしたショートフィルムによる地域の魅力の発信
 - ⑥飲食店の協業による新名物の開発
 - ⑦各商店街のHP作成
 - ⑧感染症対策の徹底

見込まれる効果等

- ✓ 感染症対策を徹底したイベントやデリバリーシステムの構築、ショッピングバスの運行により、地域住民の安全や利便性を高めつつ、商店街を楽しんでもらう。
- ✓ まちゼミのリモート配信や、地域や商店の店主等の魅力を動画やショートフィルムによって継続的に発信することで、地域住民の商店街への愛着を育み、常連客を増やしていく。また、域外の消費者の来街も促していく。



トウトウク活用ショッピングバス運行



新名物の開発